

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪-もう一つの平泉-』パンフレット14頁 —

3 比爪-奥州藤原氏第二の拠点- ③ 外縁遺跡

◀ 弥勒地経塚(紫波町土館字弥勒地)③ ▶

下段の平場は、人為的に造成されたものであり、仏堂が建てられた跡と推測されます。礎石は殆どが動かされた状態でしたが、石敷きから、約7m四方の正方形の仏堂が想定されます。下段平場からは10世紀後半と推測される土師器、須恵器が出土しており、経塚造営の12世紀よりも先行して、仏堂が造営されたと解釈されます。

弥勒地経塚は比爪館からみると、真西からやや北よりの方位(W-19° -N)に位置し、比爪館からも遠望できます。この方位は太陽暦の4月26日、8月17日頃の日没方位です。この日没方位に10世紀にさかのぼる仏堂が存在し、それに対して仏教的な仮託がおこなわれ、経塚造営がなされたと解釈されます。出土陶器の年代から、比爪初代の「清綱」の代から経塚造営が開始されていたと理解されます。7基の経塚数は比爪地域では最大数の造営で、弥勒地経塚は比爪において重要な宗教的な場所であったことを物語っています。

◀◀◀ 8~9月行事予定のお知らせ ▶▶▶

8月16日 (水曜日)	第84回 月例発表会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：金濱興一 テーマ：ひづめ 3 発表者：平井和夫 テーマ：吾妻鏡と奥州平泉 9
9月3日 (日曜日)	赤石公民館比爪館入門講座 はじめての 比爪館さんぽ ③ 〔協力事業〕	集合時刻 午前9時(終了予定：正午) 集合場所 現地/南日詰字大銀 実地見学 大銀II遺跡発掘調査現地見学→北上川 堤防工事関連遺跡→城内遺跡 参加費 100円(保険料他) ※ 詳細は赤石公民館676-3999へ
9月20日 (水曜日)	第85回 月例発表会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：高橋敬明 テーマ：鎌倉時代の紫波 2 発表者：石幡 信 テーマ：(未定)

※ 前号行事予定欄の月例発表会回数に誤りがありました。正しくは、7月19日の82回が83回・8月16日の83回が84回です。

6月25日(日)に行なわれた赤石公民館比爪館入門講座「はじめての比爪館さんぽ①(協力事業)」が終了しました。当日は心配された雨も降らず、予定どおりコースを巡ることができました。参加者は十数名と少な目でしたが、比爪館関連遺跡が貴重な歴史遺産であることを、皆で体感できたものと思います。◀裏面の投稿を参照▶

次回は、前号(6月20日第72号)記載のとおり、7月30日(日)に開催します。コースは箱崎家阿弥陀堂→五郎沼一周(古代蓮の池→黄金伝説の山吹川→五郎沼経塚跡→伝説・夜泣き石)→島の堂観音・乾元二年碑→大荘厳寺跡です。道案内人(ガイド)の外に、熱中症対策のサポートスタッフ等も必要です。協力できる方は、090-3125-3776(高橋)に連絡してください。もちろん一般参加者としての参加も歓迎です。できるだけ多く参加し皆で盛り上げましょう。

比爪館跡 第30次発掘調査報告書 <紫波町教育委員会(平成25年3月発行)>

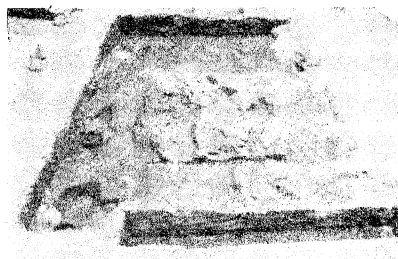
【比爪館遺跡 第30次発掘調査(3)】 ～抜粋～

3 調査の成果 —(2)中世の遺構・(3)出土遺物(省略)—

(4) 調査のまとめ(前号に続く)

【土塁状遺構】

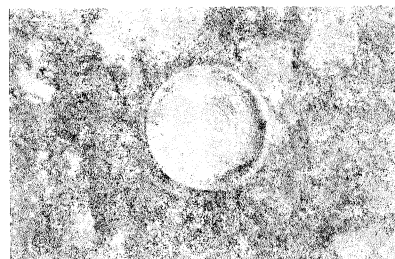
南側の土塁状遺構の調査区は、以前住宅が建っていた所で、基礎跡や地盤改良等による攪乱でほとんどが壊されていた。唯一基底部分近の各1層を検出したので精査をした。ただし、北側調査区断面は残存しており、幸いにも断面観測は可能であった。埋土堆積状況は人為的に土を軽く版築しながら積み重ねている事が確認できた。これを見ると、堆積土Ⅱ層(11～12世紀前半)と堆積土Ⅲa層・Ⅲb層(10世紀後半以前)の旧表土を掘り込んで構築されており、SX-014 土塁状マウンドと全く同じ掘り込み面であった。また、基底部分近の各層からもかわらけが出土していることから、同時期に構築された遺構と推測する。



SX-015 土塁状遺構 全景(南から)



SX-015 土塁状遺構 断面(南から)



SX-015 土塁状遺構 遺物出土状況

◆◇ 投稿『はじめての比爪館さんぽ』に参加して ◆◇

岩手県で一番古い不動明王の石碑の絵は、ほとんど消えて見えませんでした。元号は指さしてもらって何とか確認できましたが、このままでは資料の写真から考えて、あと数十年で全く見えなくなりそうです。保存の対策は出来ないのでしょうか。

発掘調査が30回以上になると説明を受けました。比爪館遺跡や関連遺跡から、平泉と同じようなものが出土していることを、町民の何%が正しく認識しているか疑問です。この貴重な歴史遺産について、もっと活発な啓蒙活動が必要と感じました。

薬師神社では代表役員の方から、種々お話をお聞きすることができました。大荘厳寺の鎮守社から延々と続く歴史と、廃仏毀釈などの時代の波を乗り越えてきた地域の皆様の努力の重さを痛感する中で、薬師堂の御本尊であった薬師如来様が、柏手(かしわで)で参拝され、ご不満でありはしないかという疑念が、ふと、私の脳裏をよぎりました。

お世話いただきました赤石公民館・樋爪館遺跡道案内人の皆様、ありがとうございます。次回も、ぜひ参加させてもらいます。

☆ 出前講座

6月28日(木)、赤石小学校3年生の総合学習「五郎沼のはす」の講師派遣依頼があり、関連事業への参画と位置づけ、講師に櫻井早苗、助言者に高橋敬明の2名を派遣。公民館の岡市指導員さんも協力されました。

生徒諸君は、真剣なまなざしで話を聞き、質問も活発でレベルも高く、予想以上に地域の歴史的事柄への関心の強さを感じました。

